

ガバナー公式訪問 千代田グループ

東京南ロータリークラブ

幹事 亀田 修平

日時：2009年7月30日(木) 懇談会 9：00～10：00 場所：於東京会館
合同例会 12：30～13：30



久邇ガバナーをお迎えし、東京會館で行われた東京南RC、東京赤坂RC、東京麻布RC3クラブの合同例会に先立ち、懇親会が開催されました。久邇ガバナーは、ガバナー公式訪問の第一回目を是非ホームクラブで行いたいとのご希望があり、東京南RCからのスタートとなりました。

9時から、久邇ガバナー、地区から上條幹事をはじめ、千代田地区から大徳ガバナー補佐、山本グループ幹事、クラブからは大西会長、新井次期会長、亀田幹事が出席し率直な意見交換が行われました。大西会長から、今年度のテーマである「良き伝統の継承と改革・発展を」について、またクラブの課題などについて説明がありました。変化する社会経済環境のなかで、ロータリークラブの原点に立ち返って「守るべきもの、変えていくべきもの」を見極め、東京南RCの将来の発展を図りたいとの決意が語られました。特に分かりにくいと言われている「職業奉仕」について理解を深めることの必要性についても言及され、質疑応答が行われました。

12時30分、大西会長の点鐘により合同例会は和やかな雰囲気の中で始まり、東京赤坂RC四分一会長による乾杯のあと食事となりました。久邇ガバナーから、これからの世界のあるべき姿、特に環境問題について、穏やかな中にも力強く格調の高い卓話があり、最後に東京麻布RC伊藤会長の点鐘で閉会となりました。

東京南RCは来年創立60周年を迎えます。今年度執行部の役割は、大西会長が提唱されている通り、リベラリズムに基づく良き伝統を守りながら、一方で思い切った改革も取り入れ、新しい時代に向けて発展して行くことができるよう、東京南RCの礎を築いていくことであると考えております。



Governor's
OFFICIAL VISIT